



平成23年 冬 第26号

静岡てんかん・神経医療センター情報誌

あかり

A K A R I

看護師さんを
募集しています



職員が作った門松です。
緑化整備室のメンバー
で作りました。

- 新しい電子カルテが導入されました — 1
- 「てんかん看護セミナー」を開催して — 2
- 放射線科からのお知らせ — 2
- 新薬イーケプラ(レベチラセタム)発売 — 3
- サフィニア・ミリオンベルの育成 — 3
- 自己紹介 — 3
- 秋の大収穫祭(いも掘り) — 4
- つくしんぼ保育所芋掘り大会 — 4
- 文化祭でGO! / 日本平 — 5
- 禁煙のススメ「楽しんで禁煙」 — 6
- てんかん外来再診の診療体制 — 7
- 医療連携室 — 7
- はじめて当院を受診される方へ — 8
- 当院へのアクセス / イベント情報 / 本 — 8

新しい電子カルテが導入されました

院内の掲示で、すでに、ご存じの方も多いと思いますが、当院では、平成22年11月より、新しい電子カルテシステムが導入されました。皆さんが感じられる変更点は、受付機、予約表、血液検査などの結果表などでしょうか。

しかし、新しいシステムとなったことで、以前のシステムと比較して、最も大きく変わった点は、セキュリティの向上です。新しいシステムはインターネットとは接続していません。また、データの取り出しなどは、限られた人、限られた場所で行えません。私たちは、

少々不便ですが、皆さんの個人情報を守るためには、必要なことです。どうぞ、ご安心ください。

当初は、システムがうまく動かなかったり、私たちが慣れていないことなどから、検査のオーダーがうまくできなかったり、会計に時間がかかったりと、ご迷惑をおかけしました。少しずつ軌道に乗り始めましたので、これからは、円滑に運用できると思います。ご不便をおかけすることもあるかもしれませんが、よろしくお願いたします。

(副院長 溝口 功一)

「てんかん看護セミナー」を開催して

10月21日22日にてんかん看護セミナーを開催しました。このセミナーは、平成16年に開始し今年で7回目となります。今年は、27名の参加者でした。



講義の様子

目的は、「てんかん医療・看護に携わっている看護師、および関心を持っている看護師に対し、最新の知識、技術の充実を図る」で、全国の看護師を対象に毎年開催しています。当院は、日本のてんかん医療のリーダーとして最新の情報や知識を提供する役割があります。近年、てんかんセンターを立ち上げる病院が多くなりましたが、それだけ需要が大きいということだと思います。

これまでのセミナーの紹介をします。参加者は、延べ211名。参加施設は、国立病院機構のみならず、公立病院、大学病院、施設などから参加していただいています。所属部署は、神経内科、重症心身障害児〔者〕病棟、小児科など様々でした。国立病院機構からは、6年間で

42施設から169人の方が参加していました。

セミナーの内容は、てんかんの疾患・看護、リハビリテーション、検査、心理テスト、福祉制度、薬剤に関するてんかんの講義があります。2日目の午後は、てんかん病棟の見学後ディスカッションを行います。受講生の皆さんは、課題を明確にして参加していらっしゃるので活発なディスカッションが行われました。各施設で色々な問題を抱え、てんかんをもつ人の看護を真剣に考えていることがわかりました。今回は、4月に誕生したてんかん看護の院内認定看護師が講義を担当し受講生の課題解決に活躍しました。

このセミナーは、全国の看護師対象に行っていますのでホームページでも募集しています。

多くの看護師に参加していただくことが、てんかんをもつ方の生活の質の向上につながると思います。

(副看護部長 松山 みどり)



見学後のディスカッション

放射線科からのお知らせ

MRI装置がアップグレードされました

この度、当院の1.5テスラMRI装置がアップグレードされ、最新機種(GEヘルスケア社製: Signa HDxt Optima Edition Twin Speed 1.5T)に生まれ変わりました。

これは、従来装置のマグネットをそのまま使用し、ホストコンピューター・機械室ユニットなどを入れ替えて最新機種に変更するシステムで、装置全体の更新に比べて工事期間短縮やコスト面といったメリットだけでなく、主要部品を再利用する環境にも優しいシステムです。

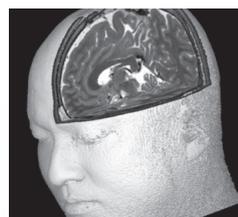
従来MRI装置に比べ、アップグレードされた点は？

1. 高速リコンエンジンの搭載で、画像処理能力が大幅に向上(画像演算部の処理能力が27倍アップ)した事と、最新シーケンスによる撮影により検査時間が短縮されました。
2. 傾斜磁場システムの変更や頭頸部専用16チャンネルコイル等の採用により、より高画質なMRI画像が撮影可能となりました。
3. 多くの新アプリケーションにより、小児など動きのある患者様の画像補正や、より充実した非造影による血管撮影、また、各種機能評価・画像解析が可能となりました。

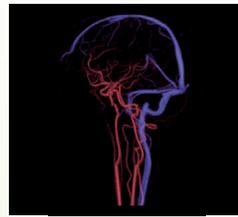
最新機種となったことで、高画質なMRI画像や各種機能評価などにより、今まで以上に正確な診断や治療のお役に立てるとも思います。

今後も、スタッフ一同が装置取扱いに習熟して画質の向上を目指すと共に、患者様が安全で安心してMRI検査を受けて頂ける様に努めたいと考えています。

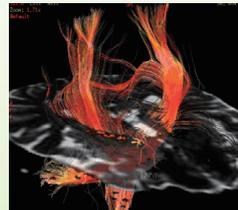
(診療放射線技師長 安江 森祐)



Cube(T2強調画像)



Inhance 3D Velocity(非造影)



拡散テンソル画像

新薬イーケプラ(レベチラセタム)発売

我が国では、2006年以降相次いでガバペンチン、トピラマート、ラモトリギンが発売され、今年(2010年)にはレベチラセタムが発売されました。

レベチラセタムの特徴として①既存の抗てんかん薬とは異なる作用機序も持つこと、②他の抗てんかん薬との相互作用が少ないと考えられることが挙げられます。この2点について少し詳しく述べていこうと思います。

まず、作用機序について説明します。レベチラセタムには、シナプス小胞タンパク2A(SV2A)に結合し、抗てんかん作用を示すという既存の抗てんかん薬にはない作用機序があります。このことから、他の抗てんかん薬では十分な発作抑制が認められない部分発作(二次性全般化発作を含む)に対し、他の抗てんかん薬と併用することにより、発作抑制に効果があると言われています。

次に、相互作用について説明します。薬物相互作用は、

肝臓に存在している薬物代謝酵素(CYP等)が阻害または誘導されることにより起こります。しかし、レベチラセタムの代謝にはCYPが関与しないことから、他の併用抗てんかん薬の血中濃度に影響を及ぼさないと考えられます。また、海外では「成人てんかん患者の部分発作に対する抗てんかん薬との併用療法」の標準的な治療薬として位置づけられています。

本邦では、販売されたばかりであり1年間は投与日数に制限(14日)があること、他の薬と比べ薬価が高いこと、錠剤が大きいことなどもあります。相互作用が少ないことから、部分発作における多剤併用療法に用いられやすく、効果が期待できる薬剤であると考えられます。

ご質問等ございましたら、薬剤科までお気軽にお声をおかけください。

(薬剤科 幾見 泰洋)

** サフィニア・ミリオンベルの育成 **



夏号でもお知らせしましたサフィニアとミリオンベルの花苗育成ですが、平成22年10月12日～15日に品評会を開催しました。

育成していた60花苗のうち、今年の記録的な酷暑に耐えて美しく大きくこの時期まで育った28鉢の花が中央廊下に並びました。



多くの患者さまやご家族、職員が、その華やかさ、美しさに足を止めて見入っていました。特に、ストレッチャーの上で1つ1つの花をゆっくり観賞され喜んでおられた患者さまの情景が印象的でした。

最優秀賞は、職場長や育成責任者からなる投票の結果、投票総数47票のうち17票を獲得した薬剤科のピンクの花のミリオンベルが獲得しました。

(管理課)

自己紹介

医師 村上 智彦

出身地 ■ 大阪府 診療分野 ■ 小児科

はじめまして。この7月から当院に勤務させていただくこととなりました、村上と申します。ここに来る前は、奈良医療センターにて主にてんかん患児や重症心身障害児・者の医療にあたっていました。

まだまだ勉強不足ですが、少しでもてんかんを持つ児や家族の力になれるよう頑張りたいと思います。皆様方のご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

医師 八木 宣泰

出身地 ■ 静岡県 趣味 ■ テニス 診療分野 ■ 神経内科
抱負 ■ 大局的な見地から診療できる医師をめざし、頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。

医師 山口 解冬

出身地 ■ 神奈川県 診療分野 ■ 小児科

2010年9月からてんかん科でお世話になっています、山口解冬(やまぐち とくと)と申します。

小児科で主にA4の患者さんを担当させていただいております。なんとか、より良い方向にお手伝いできるように頑張りたいとおもいます。

よろしくお願いいたします。

秋の大収穫祭(いも掘り)

C1病棟 保育士 前田 恵里

C1病棟の菜園には今年も春はたまねぎ、夏にはスイカやキュウリなどたくさん実りました。さて、秋はさつ



まいもの収穫です！今年の夏の暑い日差しをたっぷりと浴び、菜園いっぱいにはサツマイモのつるが伸びました。

さあ、みんなで収穫です。今年はA4病棟から患者様とご家族が参加しました。なかなか土から顔をださないサツマイモをスコップでせせと土を掘り起こしたり、

つるを「よししょ、よししょ！」とひっぱり。やっと顔を出したサツマイモに患者様はにっこり笑顔。さつまいもは患者様の手より小さなものから、両手でやっともてるくらいのもの



まで様々でした。みんなで協力してたくさん収穫することができました。後日、C1病棟では栄養

課の協力を得て収穫したサツマイモでおやつ作りを行い、おいしく、おなかいっぱい頂くことができました。

つくしんぼ保育所芋掘り大会

つくしんぼ保育所 中澤 由美子

うんしょ、うんしょ！葉っぱをかき分けて、ツルを引っ張って、もぐらさんのお手々で土を掘ったら…大きなお芋が出てきたよ！！

あひる組(2才児)のお兄さん、お姉さんの手には、大きなお芋、かわいいお芋、たくさんのお芋が一杯！



ひばり組(1才児)のお友達も、お兄さん達に手伝ってもらって、お芋掘りを楽しみました。

ひよこ組(0才児)の小さなお友達は、乳母車の中から見学。お兄さん達が掘ったお芋をそっと触らせてもらいました。



その日のおやつの時間、ホクホクに蒸かしたお芋を、みんなで美味しく頂きました。

(その後…お芋のつるは、電車ごっこや綱引きに！そして、くるくる巻いて乾燥させ、クリスマスにはリースの材料に使わせて頂きます。)

看護師さんを募集しています！

①常勤職員：病棟勤務 夜勤有り ②非常勤職員（外来、B型通園、病棟）
経験の少ない方、育児等でブランクのある方でも心配はご無用です。「じっくり患者様と関わりたい」「ゆとりのある看護をしたい」とお考えの方、ぜひ当院で働いてみませんか？相談、見学等随時お受けしております。お気軽に看護部長室までご連絡ください。

TEL ● 054-245-5446

E-mail ● kango-bu@szec.hosp.go.jp

文化祭でGO!

保育士 北林 由比

当院の重症心身障害児・者病棟の行事で、10月に恒例の文化祭が開催されました！3日間にわたって



行われた、芸術の秋を感じる催しの様子をお伝えします。

文化祭1日目は、フラダンサーのボランティアの方々をお迎えしてのフラダンスショーでした。本格的なダンスや、楽しげなハワイアンのメロディに患者様の多くが笑顔を見せていました。ダンサーの方々は曲の雰囲気に合わせて赤や黄色、白などの色とりどりの衣装に着替えて患者様の目を楽しませたり、また、簡単な手の振り付けを教えて会場を巻き込んで踊ったりと多彩な楽しませ方をしてくださいました。最後は各病棟から感謝の印としてプレゼントを贈り、ダンサーの方々もとても喜んでくださいました。



文化祭2日目は「電車でGO!」という、ガタガタ線路を車いすで楽しむという催しを療育スタッフ主催で行いました。入口と出口は「漆山駅」と「富士山駅」になっており、

患者様は制服を着た「駅員」スタッフから切符をもらって出発！ガタガタと線路の上を進む途中、シャボン玉のトンネルを潜ったり、新幹線と富士山の絵の前で駅員の帽子を被って写真撮影をしたりと、電車の旅を楽しみました。

文化祭3日目は「ディスコDEフィーバー!」と題して、エアートランポリンという大型遊具を使用しての揺れ遊びを院内学級の教員主催で行いました。ディスコミュージックに合わせて、患者様はトランポリンの上で跳ねる跳ねる！学校の先生方ががんばって、エアートランポリンを力いっぱい揺らしてく



れていました。またゆったり乗りたい方のために「ゆったり揺れ」用のエアートランポリンも用意しており、それぞれの揺れを楽しむことができました。

また、期間中、体育館の大きな窓には各病棟の季節ごとの作品が一面に飾られ、患者様やご家族から「作品を見ることができてとてもよかった」とご意見をいただきました。今年は病棟の職員からの協力もあり、細かな折り紙細工やぬいぐるみを職員作品展として飾ることもできました。ご協力ありがとうございました。



●●● 日本平 ●●●

こども病院を出たところの橋の上から、南東に鉄塔がいくつも立っている小高い山が見られます。そこが日本平です。日本平は観光地百選に1位で当選した風光明媚なところです。二つの展望



台から、昼間は富士や駿河湾から伊豆半島の先端までを見渡すことができ、夜は清水市街の夜景を眺めることができます。また、ホテルから眺めた富士山もすばらしく、芝生の庭を散策したり、レストランで雄大な眺めを見ながら料理を堪能することもできます。

(薬剤科 加藤 正紀)

禁煙のススメ「楽しんで禁煙」



私はつい二ヶ月前までは愛煙家でした。いつからタバコを吸っているのか考えてみると、それは大学時代から始まりおよそ35年間となります。我ながらよくもこれだけ長い期間吸ったものだと驚いてしまいます。35年間というのは、人が生まれてから大人になり一つの仕事を習得できる期間に相当するものです。知らないうちに喫煙の熟練者になっていた訳です。喫煙で使ったお金もこれまでで300万円以上にはなっているでしょう。しかし、私も生まれたときにはタバコをくわえていたわけではありません。タバコが普通に販売され簡単に買える社会の中で、興味本位から喫煙し始めて自分でも気がつかないうちに依存症になっていた訳です。

昨今、敷地内禁煙を宣言する病院が多くなっている中で、私の職場も来年の4月(平成23年4月)から禁煙になることが決定されました。そんな中で「禁煙は愛」という勉強会が院内で催されたのでした。実のところ「余計なお世話だなあ、タバコを吸うのは個人の自由だよ。」と考えながら何となく勉強会に出席したのが本音でした。

◆7月14日(禁煙は愛・勉強会)◆

静岡の保健所長さんの講演があり、禁煙の方法として内服薬を使う方法について知りました。それは、これまでのように体内のニコチンを減らしていく方法「禁煙=我慢と根性」ではなく、ニコチンの吸収をブロックしてしまうことで「楽に禁煙できます」というものでした。私はこれまでとは全く違った切り口に感心してしまい「この方法なら何となく出来そうだなあ、やってみようか」と禁煙のチャレンジを簡単に決めてしまったのです。

◆7月15日(一回目の禁煙外来受診)◆

決めたら実行あるのみ、勉強会の翌日に市内のクリニックを受診しました。診察時に呼気中の一酸化炭素濃度(タバコの煙に含まれる代表的な有害物質・禁煙で減少)を測定、結果は24ppmでかなり高い値となっていました。問診では一日20本・喫煙歴35年は「ヘビースモーカーでニコチン依存症」とカルテに記載され「私はニコチン依存症患者なのか」と今更ながらに認識しました。先生に内服薬で実施したいことを告げると「チャンピックス」(禁煙治療内服薬)が2週間分処方されました。今回の禁煙プログラム(健康保険を使用した場合の費用は、総額で18,000円くらいになります。)は12週間内服するものです。まず、最初の一週間で体を薬で慣らしながら脳内のニコチン受容体をブロックしてしまいます。その間は通常通り喫煙も可能です。二週間目からはいよいよ禁煙の開始となるのですが、私は前日の夜まで未練いっぱい喫煙を続けていたので、明日の朝か

らいつきに禁煙することは無理であろうと考えていました。しかし、驚くことに簡単に禁煙を開始することができてしまったのです。ニコチンを絶った為の禁断症状はまったく起こりませんでした。それは、まさに「楽しんで禁煙」の始まりでした。

◆7月29日(二回目の受診・禁煙から一週間)◆

一酸化炭素濃度11ppmへ、喫煙時の1/2まで減少する。診察後二週間分の薬を処方してもらう。順調に禁煙中です。タバコを吸いたいとは思わないのですが、昼食後(今までの喫煙タイム)などに手持ち無沙汰になってしまい、しかたがないので散歩をして時間をつぶすようになりました。

◆8月12日(三回目の受診・禁煙から三週間)◆

一酸化炭素濃度4ppmへ、喫煙時の1/6まで減少する。今回は四週間分の薬が処方される。順調に禁煙中、一ヶ月が経過する。これまでの経過の感想は、まず禁煙についてはまったく努力しなくてOKでした。その他としては、①食後の眠気②軽い喉の違和感③喀痰の減少④便秘などが挙げられますが、これらの症状については個人差があると思います。

◆9月9日(四回目の受診・禁煙から七週間)◆

一酸化炭素濃度5ppmで低値の状態を維持する。最後の四週間分の薬が処方される。開始から約二ヶ月になり順調に禁煙できていますが、本音を言うとタバコを吸いたいという欲求はまだ完全になくなった訳ではないようです。しかし、禁煙により①喉の調子が良くなる②タバコ代が節約できる③食事が美味しくなる④火元の心配が減る⑤体重が増える?などの良い事も徐々に実感できるようになってきています。この先、服薬を止めてからも禁煙を継続できるのかよく分かりません。今は、もし失敗したらその時はその時と気楽に考えています。

今回、私が喫煙している方に伝えたかったのは、「楽しんで禁煙」する方法があること、そして、大げさに考えないで軽い気持ちで試してみるのも有りかなということです。私は今でも、一緒に食事をしている仲間がそのテーブルで喫煙しても苦になりません。また、狭い喫煙室に大勢の人が閉じ込められてタバコを吸っている光景を見ると、まだ自分がその中にいるような複雑な気持ちになってしまいます。私は、喫煙を一方向的に否定するような考えはありません。ルールを守って喫煙するのであれば、それはそれで良いと思うのです。私も喫煙しているときには、タバコを吸わなくなる生活なんて考えたくもなかったのです。タバコ会社の巧妙な販売により、完全なニコチン依存症患者になっていたのですから無理もないことだと思います。タバコを吸うも吸わないも自分で自由に選択することができるのです。現在喫煙している方もそう頑なに考えないで「楽しんで禁煙」の選択肢があることを一度気軽に考えてみてはいかがでしょうか。

(臨床検査技師長 木下 均)

てんかん外来再診の診療体制

てんかん科

午前の診療時間は8:30~12:00 午後の診療時間は13:00~16:30

	月	火	水	木	金
第1診察室	中村	中村	臼井桂	山崎	臼井直
第2診察室	久保田英			久保田英	
第3診察室	今井		井上	今井	松田
第4診察室		鳥取	日吉		日吉
第5診察室	池田仁	池田浩	池田浩	寺田	寺田
第6診察室	芳村	山崎		芳村	馬場好
第7診察室		小出		最上	高山
第8診察室			高橋		
第9診察室	重松				重松

神経内科

※第2、4週は馬場(国)

	月	火	水	木	金
第10診察室	溝口	溝口	溝口		溝口、馬場 [※]
第11診察室	杉浦	小尾	山崎		小尾

特殊外来

転倒予防外来	随時	溝口、小尾
物忘れ外来	随時	溝口、小尾
遺伝相談	適宜	高橋、溝口、小尾

再来診療は予約制です。予約が出来ない場合は午前中にお越しください。

医療連携室のご案内

医療機関間のコミュニケーションを円滑に行なうために、医療連携室(予約センター)を設置しています。ご利用ください。(平日)

TEL ■ 054-246-4580(初診)

054-246-1065(再診)

FAX ■ 054-246-4607

予約センターの受付時間

● 9:00~12:30 ● 13:30~17:00

E-mail ■ renkei@szec.hosp.go.jp

当院では、脳波、筋電図、誘発電位、脳磁図、終夜ポリグラフ、CT、MRI、SPECTなどの検査が可能です。共同利用も可能です。

上記、医療連携室にお問い合わせください。

広報誌編集委員会

編集人■

溝口 功一	寺田 清人	藤井 千穂子
佐藤 ひろ美	加藤 正紀	柘植 仁
児玉 和久	中島 賢二郎	堀 友輔
山本 恵	長田 英喜	

発行 ■ 平成23年1月26日

国立病院機構

静岡てんかん・神経医療センター

〒420-8688 静岡市葵区漆山 886

TEL ■ 054-245-5446

FAX ■ 054-247-9781

URL ■ <http://www.shizuokamind.org>

E-mail ■ shizuoka@szec.hosp.go.jp

はじめて当院を受診される方へ

◆ 診察は予約制になっています ◆

1 受診のための手続きは…

予約制は、ご本人・ご家族から当院医療連携室(054-246-4580)へ、あるいは主治医の先生から当院医療連携室へ申し込んでください。その際、ご本人の氏名・性別・生年月日・住所・電話・保護者氏名をお尋ねいたします。電話をいただきますと、その場で受診日を決め、折り返し当院からくわしい書類をお送りいたします。

2 セカンドオピニオンについて

セカンドオピニオンもお引き受けいたします。

3 紹介状について

現在すでに病院へかかっておられる方は、主治医の紹介状があることが望ましいですが、なくても結構です。紹介状がない場合は別途費用(2,625円)がかかりますので、ご了解ください。病院からの資料もあれば望ましいですが、なくても結構です。

4 緊急を要する時は…

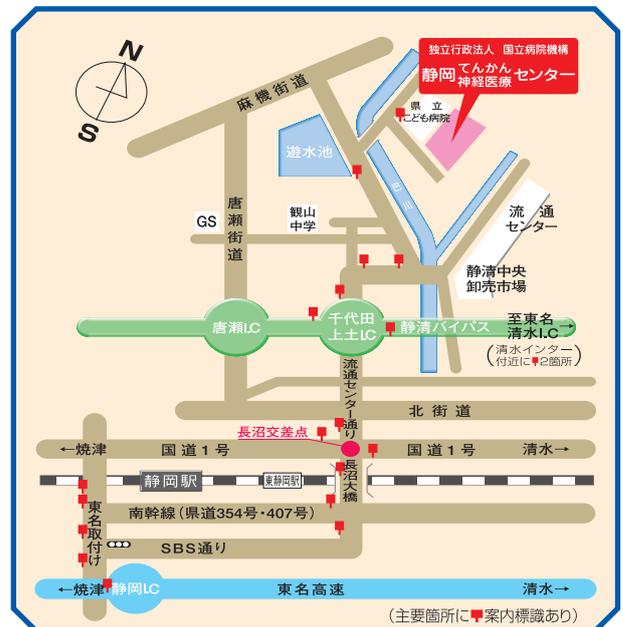
受診日は病状に応じてできるだけ対応いたしますので、緊急を要する時はその旨をご連絡ください。

当院へのアクセス access

バスをご利用の場合	JR 静岡駅前、北口バスターミナル 2 番線より静岡鉄道バスにて、こども病院線「67 こども病院・国立神経医療センター」行に乗車、終点の“国立神経医療センター”で下車。全所要時間は約 30 分。片道料金は大人 350 円、小児 180 円。
タクシーをご利用の場合	JR 静岡駅前(北口)より乗車。所要時間は約 20 分。料金は 2,200 円程度。
お車の場合	東京方面から
	名古屋方面から

東名高速清水インターより、静岡バイパスを静岡方面に向かい、千代田・上土出口から流通センター通りを北へ数分。所要約 20 分。

東名高速静岡インターより、国道 1 号線を清水方面に向かい、長沼交差点を左折、流通センター通りを北へ数分。所要約 30 分。



イベント情報

● 第27回てんかん専門職セミナー【成人てんかんにかかわる専門職】

2011年2月25日(金) 9:00~16:00

於 ◆ 当院管理棟 3階講堂

本

● アトラス てんかんの発作間欠時・発作時脳波を読む【診断と治療社、2007年】

てんかん症候群におけるあらゆる病態の脳波記録を網羅的に掲載し、それぞれについて詳細でわかりやすい脳波判読のしかたを解説しています。

● てんかん症候群：乳幼時・小児・青年期のてんかん学【中山書店、2007年】

世界で愛読されているてんかんの教科書です。典型的な発作 DVD が付属しています。

てんかん情報センターのご案内

てんかんに関するさまざまな情報を集積したセンターが外来棟 1 階にあります。

どうぞご利用ください。次の活動を行っています。

- 1 てんかんに関する書籍・雑誌・ビデオなどの閲覧・貸し出し(自己学習)
- 2 ホームページによる情報提供
- 3 てんかん協会との連携
- 4 医療などの相談(予定)